

1. はじめに

高校への進学率が9割を超える現在、様々な進路意識をもった中学生が高校へ入学しています。このような状況において、従来の普通科高校や専門高校（農業・工業・商業等）のように、入学の段階で自身の方向性を決めた生徒を受け入れる高校だけでは不十分になってきました。そこで、生徒の進路意識の差や様々な進路希望に対応するため、総合学科という新しいタイプの高校が設置されるようになりました。

皆さんが入学した遠江総合高校も、その新しいタイプの高校の一つです。本校では、普通教科から専門教科（農業・工業・商業・家庭・福祉）まで、生徒が自身の進路に合わせて選択できるよう100科目以上を開講しています。しかし、ここで問題になってくるのは「どの科目を選択して良いのか？」ということです。その問題を解決するために、このシラバスを作成しています。大海を進む船が羅針盤で方位を測定して進む方向を決めるように、このシラバスは皆さんの進路を方向付ける羅針盤の役割を果たしてくれるものなのです。

総合学科では、生徒一人一人の個性を生かし、主体的な学習を重視しています。本校では「人文社会」「自然科学」「食品園芸」「機械技術」「電子情報」「ビジネス」「ライフデザイン」の7つの系列を設け、それぞれの系列で普通科目や、農業・工業・商業・家庭・福祉などの専門科目から選択学習することを特徴としています。何を選択し、どのように学ぶかは、皆さんの将来の進路希望と大きく関係があります。

このシラバスが、総合学科で学ぶ皆さんの羅針盤として、将来の進路希望に向けて確かな方向に導いてくれることを期待しています。

【活用法】

シラバスは、一年間の授業計画を分かり易くまとめたものです。授業計画とは、単純に「いつ、何をやるか」だけでなく、教科・科目の学習を通して「どのような能力を身に付けたいか」という教科・科目の目的から始まり「どのような方法で（何を使って）授業をするか」「どのような点をどのような方法で評価するか」といった授業内容の全てを含んだ実践計画書です。



では「学習の手引き」の有効な活用法とは何でしょうか。

- ①読むことで「いつ頃、どのようなことを学ぶのか」「授業ではどのような点に気をつけたら良いのか」などが分かります。受け身の授業ではなく、自ら進んで学ぶための資料となります。
- ②一年間の授業内容を見て、自身が希望する進路を実現するために十分であるか、足りないとしたら次年度はどのような授業を選択したら良いかなど、将来に向けた判断材料になります。
- ③1年次生は2年次以降の系列および科目選択を、2年次生は次年度の科目選択を決める際の参考になり、自身の進路を考える上で役立ちます。

この他にもまだまだ多くの活用法があります。まずは「現在受けている授業」「来年・再来年に選択できる（選択してみたい）授業」を確認してみましょう。是非、有効に活用してください。

2. 教育方針

- 自己の確立と生きる力の育成
- 豊かな感性と健やかな心身の育成
- 地域社会に貢献できる人材の育成

3. 総合学科と系列について

(1)「単位制」とは

総合学科は、学年の区分を設けない（年次制）選択授業中心の教育課程を編成・実施するとともに、必要単位数の修得により卒業を認定するなど、単位を基準とした学習量をはかる仕組みを持ちます。

(2)「系列」とは

進路実現のために生徒の興味・関心に合わせて7つの系列を設置しています。2・3年次には系列選択科目があり、専門性を深めます。

【人文社会系列】

国語、地歴・公民、外国語に関する幅広い知識を習得するとともに、国際理解の向上を目指し、表現能力や現代の社会に対する洞察力や情報活用能力を育成します。

【自然科学系列】

数学や理科に関する幅広い知識を習得するとともに、観察や実験など体験的な学習活動を通して、科学的なものの見方や考え方、情報活用能力を育成します。

【食品園芸系列】

栽培（野菜・草花）の基礎基本から食品加工・分析・流通までの知識・技術を習得し、社会の変化に主体的に対応できる能力と態度を育成します。また、体験活動を通して「いのち」を大切にすることを学びます。

【機械技術系列】

機械や工具を用いた加工技術に関する基礎的・基本的な知識・技術を習得するとともに、機械の設計・開発までの手法についても学び、自ら考え判断できる実践的な技術者として必要な能力と態度を育成します。

【電子情報系列】

コンピュータの基礎となる半導体素子の原理を理解し、情報技術に関する知識と技術を習得するとともに、メカトロニクスにおける活用の手法や電子回路などを幅広く学び、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育成します。

【ビジネス系列】

商業の各分野（マーケティング、ビジネス経済、会計、ビジネス情報）に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、社会人としての基礎・基本を育成するとともに、ビジネス活動に主体的に対応できる能力と態度を身に付けます。

【ライフデザイン系列】

家庭、福祉に関する幅広い知識と技術を習得し、生涯学習の観点から心身ともに充実した生活を創造するとともに、地域の人々と共生することを視点に衣食住と福祉を捉え、地域の福祉に貢献できる能力と態度を育成します。

(3)「少人数制授業」とは

多くの選択科目が設置されていますので、少人数で学習する機会が多くなります。また、教科・科目によって、体験や技術・技能の習得を重視した実践的な科目もあります。これらの科目では、将来の授業選択に役立つような「検定」や「資格取得」も可能になります。

4. 単位および履修・習得について

(1) 「単位」とは

高校では、学習の分量を量る際に「単位」という言葉を用います。1単位とは、50分の授業を毎週1回行った場合の年間35週分の学習量になります。本校では、1週間に29時間（水曜日6限目のホームルーム活動を除く）および年間を通して集中的に学習する1年次の総合的な探究の時間を単位の修得に充てています。一年間の学習を修了すると、1年次生は30単位、2・3年次生は29単位修得できます。単位数は、科目によって異なります。例えば1年次で学習する「数学Ⅰ」は、週4時間の授業であるので4単位となります。

(2) 「履修」とは

授業に出席し、しっかりと授業を受けた場合に該当科目の履修が認められます。授業に遅れた場合、その授業の出席が認められないことがありますので注意してください。本校では、年間授業時数（単位数×35週）の5分の1を超える欠課（授業の欠席）がある場合、年度末までに補充をしなければいけません。補充が完了しない、または欠課が年間授業時数の3分の1を超えると、その科目の履修が認められません。

(3) 「修得」とは

該当科目の履修が認められた上で、学習の成果も認められ5段階の「2」以上（3年次生は10段階の「3」以上）の成績を学年末に取得すれば、その科目の単位を修得したことになります。従って「1」（3年次生は「2」「1」）は修得不認定（=欠点）となります。1・2学期の欠点は途中経過にありこのままだと3学期（学年末）に修得不認定となる可能性があるという警告です。

例) 「数学Ⅰ（4単位）」→授業に出席し「履修」が認められる。

→授業への取り組み、定期試験、課題等の総合的な成果により「修得」が認められる。

→この結果「数学Ⅰの4単位」を修得したことになる。

(4) 「卒業要件」

①原則として、全ての科目および総合的な探究の時間（87単位）の履修が認められていること。

②1年次からの修得単位の合計が80単位以上であること。なお、資格取得による増加単位（11. 知識および技能に関する審査の成果に係る単位認定について）も卒業単位に含むことができる。

③特別活動（ホームルーム活動や学校行事など）への出席・取り組みが良好であること。

【注意】

各学期の成績評価が1の科目（3年次生は1または2の科目）について、長期休業中に補習および再試験を行います。日程等の詳細については、事前に特別指導に関する説明会を開きます。

なお、各学期に3分の1を超える授業欠課があった場合は、評価が出ず成績表が空欄となります。5分の1を超える授業欠課があった場合は、警告の意味で評定が（4）のように括弧付きで成績表に記されます。

欠課が学年末に年間授業時数（単位数×35週）の3分の1を超える場合、履修（授業を受けたこと）が認められません。

また、欠課時数が年間授業時数（単位数×35週）の5分の1を超える場合、年度末に補充が必要となります。期限までに補充が完了しない場合、履修が（授業を受けたこと）が認められません。

5. 教育課程について

【各教科・科目】

①必履修科目

高等学校学習指導要領により、全ての高校生が履修しなければいけない科目です。具体的な科目は次ページ以降を参考にしてください。（1年次に多く開講されています。）

②原則履修科目

総合学科特有の科目である「産業社会と人間」で、1年次に全員が履修します。「産業社会と人間」は、自己の在り方、生き方を考え、主体的に進路を選択することをねらいとして、系列体験学習などの体験的な学習を中心に行います。後期からは決定した系列毎に、系列での学びと社会とのつながりを学習するなかで将来の自分を展望していきます。

③系列選択科目

7つの系列の専門性を探るために設置された科目です。

④自由選択科目

系列に関係のない科目、他系列の科目、自身の系列を更に深める科目等が設置され、選択によって自分だけの個性的な時間割（科目選択）が実現できます。（一部の科目では系列指定科目があります。）

【総合的な探究の時間】

本校では「Step Up Time（呼称：SUT）」という名称で、各年次に1単位ずつ設置され、探究的な学習を通して、生きること、学ぶこと、働くこととのつながりを考え、自己の在り方、生き方を考える学習を行います。

【特別活動】

ホームルーム活動、学校行事、生徒会活動が、これに該当します。

令和6年度入学生 教育課程

必須科目

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年次	全員	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ						科学と人間生活	体育			保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	英語 コミュニケーションⅠ		家庭基礎	情報Ⅰ	産業社会と人間	HR							

2年次	人文社会	自然科学	食品園芸	機械技術	電子情報	ビジネス	ライフデザイン	論理国語①	公共	数学A	英語 コミュニケーションⅡ	体育	保健	系列						A	総探※1	HR
														生物基礎 化学基礎	日史探① 世史探①	古典探究		数学Ⅱ		論理表現Ⅰ		
														生物基礎・生物①	数学B		音楽Ⅱ 美術Ⅱ 書道Ⅱ		家庭基礎	情報Ⅱ	産業社会と人間	
														物理基礎・物理①					家庭基礎	情報Ⅱ	産業社会と人間	
														生物基礎	農業と環境		農業と情報	食品製造①	食品化学	地域資源活用※1	人文社会	
														物理基礎	数学Ⅱ①	工業技術基礎		機械工作①	製図①	機械設計①※1	自然科学	
														物理基礎	数学Ⅱ①			工業情報数理	製図	電気回路①※1	食園園芸	
														生物基礎	ビジ基礎		簿記		情報処理	マーケティング※2	機械技術	
														生物基礎	社会福祉基礎	フードデザイン(家) ファッション造形基礎(福)		生活支援技術	保育基礎	ファッション造形基礎	電子情報	

①,②継続履修 ※1 系列必修 ※2 系列のみ選択可

3年次	人文社会	自然科学	食品園芸	機械技術	電子情報	ビジネス	ライフデザイン	論理国語②	体育	系列			B	C	D	E	F	G	探究・課研※	総探	HR
										文学国語	日本史探究② 世界史探究②	論理表現Ⅱ	英語コミュⅡ 演習	地理探究 数学C	英語発展演習	倫理 化学①	古典探究演習 情報Ⅰ演習	現代の国語演習	国語表現	探究・課研※	
										数学ⅠAⅡ演習	生物②	ソルフェージュ	音楽理論	音楽Ⅲ	伝統・基礎音楽	演奏研究	日本史探究	世界史探究	国語探究 歴史探究 外国語探究	遠高 プロジェクト	
										数学Ⅲ	物理②	素描	構成	美術Ⅲ	森町の伝統工芸	絵画	英語基礎演習	英語基礎演習	理数探究 (農業)		
										野菜 草花	植物バイオ	食品製造②	食品流通※1	生物活用※1	書道Ⅲ	書道表現	実用書道	化学②	情報Ⅰ演習	課題研究 (機会)	
										実習	機械工作②	機械設計②※1	数学Ⅱ②※1	製図②※1	地域資源活用	植物バイオ	食品製造	生物活用	課題研究 (電子)		
										電気回路②	実習	ハードウェア技術	実習※1	数学Ⅱ②※1	原動機※2	工業管理技術	自動車工学	電子回路※2	課題研究 (商業)		
										総合実践	課題研究②	ネットワーク管理	ソフトウェア活用※1	ネットワーク活用	財務会計Ⅰ※2	原価計算※2	情報処理	マーケティング	課題研究 (家)		
										服飾手芸(家) 介護総合演習(福)	食文化(家) 生活支援技術(福)	こころからの理解	フードデザイン(※1福祉)	コミュ技術(※1福祉)	家庭基礎演習※1	スポーツⅡ	保育実践	保育基礎	課題研究(福祉)	進路探究	

①,②継続履修 ※1 系列必修 ※2 系列のみ選択可 下線：系列推奨

令和6年度入学生 自由選択科目一覧表

職員の数や施設・設備の関係で人数に制限があります。

2年次

A選択

●系列必修科目 ○系列推奨科目 ○選択可能科目 ※条件あり

教科名	No	科目名	人数	人	自	食	機	電	ビ	ラ	学習内容、注意事項
国語	1	古典探究	30		○				○	○	古典を読み深めるための知識や技能を学び、伝統的な言語文化に対する理解を深めたり、先人のものの見方、感じ方、考え方に触れたりすることで、思考力や想像力を伸ばし、豊かな感性や情緒を育成する。
外国語	2	英語コミュニケーションⅠ演習	30	○	○				○	○	「読む」「聞く」「書く」「話す」基礎的な演習等を通して、「英語コミュニケーションⅠ」で学んだ内容の定着を図る授業です。
理科	3	化学基礎	36	○	○				○	○	物質を構成する元素の種類と構造の話から始まり、化学反応式の書き方、量の表し方、酸と塩基、酸化還元反応(電池、電気分解の利用など)について学びます。
芸術	4	音楽Ⅱ	24	※	※				※	※	「歌唱」「器楽」「鑑賞」のより深い学習をすると共に、表現方法について学習する。また様々な楽器に触れるとともに簡単なソルフェージュの学習を行う。【履修上の注意】1年次に音楽Ⅰを履修した者に限る。
	5	美術Ⅱ	24	※	※				※	※	版画、デザイン、彫刻、鑑賞などを長時間かけて制作することで基礎造形力を身につける。美術系進学希望者は履修することを推奨する。【履修上の注意】1年次に美術Ⅰを履修した者に限る。教材費2,000円が必要です。
	6	書道Ⅱ	24	※	※				※	※	書道Ⅰの学習をふまえ、「自分らしい書を書く。」ことを目標に、さまざまな書の表現方法を学ぶ。書道Ⅰ履修者に限る。【履修上の注意】1年次に書道Ⅰの履修をした者に限る。用具用材費3,000円が必要です。
保健体育	7	体育演習	24	○	○				○	○	ウェイトトレーニング・陸上競技・水泳・バドミントン・卓球・ゴルフ 体育理論
家庭	8	ファッション造形基礎	20	○	○				○	家	衣服の素材、特徴を学びながら、被服構成を考え、製作する。 【履修上の注意】実習費5,000円が必要です。
農業	9	地域資源活用	18			●					農林業や農山村の特色や地域資源の有用性を理解し、それを活用した地域振興を学習する。
工業	10	機械設計	24				●				工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、器具や機械などの設計に必要な資質・能力を育成することを目指す。
工業	11	電気回路	24					●			工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、電気現象を量的に取り扱うに必要な資質・能力を育成することを目指す。
商業	12	マーケティング	35							○	市場活動について学ぶ。例えば、商品売るときに「誰に対して売るか」「どの場所で売るか」「価格はいくりに設定するか」「どのような宣伝をするのか」など、様々なことについて考える。

3年次

B選択

●系列必修科目 ○系列推奨科目 ○選択可能科目 ※条件あり

教科名	No	科目名	人数	人	自	食	機	電	ビ	ラ	学習内容、注意事項	
外国語/地理歴史	1	英語コミュニケーションⅡ演習	40	○	○					○	家	「読む」「聞く」「書く」「話す」の演習等を通して、「英語コミュニケーションⅡ」で学んだ内容の定着を図る授業です。人文・自然系列の生徒に選択を推奨します。
		地理探究										
外国語/数学	2	英語コミュニケーションⅡ演習	40	○	○					○	家	「読む」「聞く」「書く」「話す」の演習等を通して、「英語コミュニケーションⅡ」で学んだ内容の定着を図る授業です。人文・自然系列の生徒に選択を推奨します。
		数学C										
芸術	3	ソルフェージュ	24	○	○					○	家	視唱、視奏及び調音に関する学習を通して、感覚的に音楽を捉える資質・能力を育成することを目指す。
		音楽理論										
	4	素描	24	○	○					○	家	モチーフを観察して鉛筆や木炭デッサンや、水彩絵具での着彩などを通して「描く」力を身につけます。美術系に進学希望の生徒に選択を推奨します。【履修上の注意】教材費2,000円が必要です。
構成											平面や立体の構成の学習を通して、造形的な見方・考え方を身につけます。【履修上の注意】教材費2,000円が必要です。	
農業	5	植物バ 材	36			●						植物に関するバイオテクノロジーの知識と技術を習得し、植物体の特性とバイオテクノロジーの特質を理解する。
		生物活用										
数学/工業	6	機械設計	24				●					工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、器具や機械などの設計に必要な資質・能力を育成することを目指す。
		数学Ⅱ										いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分積分の考えについて学習する。知識の習得や、事象を数学的に考察し、表現する能力を伸ばす。
	7	実習(電子情報)	24					●				工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
数学Ⅱ											いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分積分の考えについて学習する。知識の習得や、事象を数学的に考察し、表現する能力を伸ばす。	
商業	8	ソフトウェア活用	35							●	企業活動においてソフトウェアを活用する方法を学ぶ	
福祉	9	フードデザイン	14								●	栄養や食品について学び、実習を通して関連する技術を身につける。
		コミュニケーション技術										

3年次

C 選択

●系列必修科目 ○系列推奨科目 ○選択可能科目 ※条件あり

教科名	No	科目名	人数	人	自	食	機	電	ビ	ラ	学習内容、注意事項
理科	1	化学基礎	36	○	○	○			○		物質を構成する元素の種類と構造の話から始まり、化学反応式の書き方、量の表し方、酸と塩基、酸化還元反応(電池、電気分解の利用など)について学びます。
外国語	2	英語発展演習	35	◎	◎	○			○		大学受験等で英語が必要な生徒を対象とする発展的な内容の授業です。選択を決定するにあたって面談や選考を実施することもあります。
芸術	3	音楽Ⅲ	24	※	※	※			※		「器楽」「歌唱」等の学習を通して、演奏技術・音楽理論・音楽表現を学習する。将来、音楽大学や専門学校、音楽関係の仕事に就きたいと考えている者は要選択。【履修上の注意】音楽Ⅰ・Ⅱ履修者に限る。
	4	美術Ⅲ	24	※	※	※			※		デッサン、彫刻、絵画、鑑賞などを芸術性を追求しながら学習する。また、生活に潤いを与える芸術の役割を学習する。美術系進学希望者は履修することを推奨する。【履修上の注意】美術Ⅰ・Ⅱ履修者に限る。教材費2,000円が必要です。
	5	書道Ⅲ	24	※	※	※			※		書道Ⅰ、Ⅱの学習をふまえ、「書を通して自己を表現する」を目標に作品を制作する。【履修上の注意】書道Ⅰ・Ⅱ履修者に限る。用具用材費3,000円が必要です。
農業	6	地域資源活用	18	○	○				○		農林業や農山村の特色や地域資源の有用性を理解し、それを活用した地域振興を学習する。
工業	7	製図(機械技術)	24				●				工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の各分野の製図に必要な資質・能力を育成することを目指す。
	8	実習(電子情報)	24					●			工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
商業	9	ネットワーク活用	35	○	○	○			◎		情報技術の進歩に伴うビジネスの多様化とビジネスにおいてインターネットを活用する方法について学ぶ。
家庭	10	家庭基礎演習	28							●	家庭基礎の学びを基とし、より発展的な学習・探究活動を行い、自分や家庭、地域生活の充実向上を図ることを目的とする。

3年次

D 選択

●系列必修科目 ○系列推奨科目 ○選択可能科目 ※条件あり

教科名	No	科目名	人数	人	自	食	機	電	ビ	ラ	学習内容、注意事項
公民	1	倫理	35	○	○	○	○	○	○	○	道徳や哲学を中心に学びます。哲学者の思想を通して現代の自分らしい生き方を模索し、社会に出るための倫理基準の形成を目指します。
理科	2	化学①	24	※	※				※	※	物質を構成する元素どうしの結合の仕方、気体や溶液の性質、反応速度や化学平衡の考え方、タンパク質、プラスチックなどの日常生活に関わる物質について学びます。【履修上の注意】2年次に化学基礎の履修が必要となります。F群の化学②も選択してください。
芸術	3	伝統・基礎音楽	24	○	○	○	○	○	○	○	雅楽学習を中心に、日本の伝統音楽の精神性と基礎的な演奏法を学ぶ。【履修上の注意】伝統音楽に強い興味のある者に限る。
	4	森町の伝統工芸	16	○	○	○	○	○	○	○	森山焼の窯元を講師に招き、地域の伝統工芸である陶芸を学習する。ろくろ、手びねりの両方を学習し、生活を豊かにする伝統工芸の大切さを学ぶ。伝統工芸(陶芸)に強い興味のある者に限る。【履修上の注意】教材費3,000円が必要です。
	5	書道表現	24	○	○	○	○	○	○	○	作品制作を通して書道の様々な技法や表現方法を学び、生涯を通じて書を愛好する態度を育てる。【履修上の注意】卒業後も書道を学ぶ意欲がある、指導者になりたい者が望ましい。教材費3,000円が必要です。
保健体育	6	スポーツⅡ	24	○	○	○	○	○	○	○	ベースボール型球技(ソフトボール) ターゲット型球技(ゴルフ) ネット型球技(バレーボール、テニスなど) ゴール型球技(サッカー、バスケットボールなど)
農業	7	植物バイオ	18	○	○		○	○	○	○	植物に関するバイオテクノロジーの知識と技術を習得し、植物体の特性とバイオテクノロジーの特質を理解する。
工業	8	原動機	24				◎				風・水・熱エネルギーを使った発電方法と動力プラント、自動車(内燃機関)の構造と機能に関する知識と技術など、エネルギーを有効に活用する能力と態度を学ぶ。
工業	9	プログラミング技術	24					◎			近年、産業界ではプログラム言語としてCが広く利用されている。座学ではCプログラミングに関する基礎的な知識の習得、実技では実際のコンピュータを利用してプログラミング技法を学ぶ。
商業	10	財務会計Ⅰ	30						◎		「簿記」の発展学習。企業の実態を反映する財務諸表を作成する方法を学ぶ。また、財務会計の意義、会計法規及び会計基準についても学習する。

3年次

E 選択

●系列必修科目 ◎系列推奨科目 ○選択可能科目 ※条件あり

教科名	No	科目名	人数	人	自	食	機	電	ビ	ラ	学習内容、注意事項
国語	1	古典探究演習	30	※	※				※	※	古典を主体的に読み深めることを通して伝統と文化の基盤としての古典の重要性を理解し、自分と自分を取り巻く社会にとっての古典の意義や価値について探究する。 【履修上の注意】2年次で「古典探究」を履修しているものに限る。
芸術	2	演奏研究	24	○	○	○	○	○	○	○	「器楽」「歌唱」等の学習を通して、演奏技術・音楽理論・音楽表現を学習する。リコーダー等管楽器を使用した演奏を体験します。音楽系進学希望者は履修することを推奨する。
	3	絵画	24	○	○	○	○	○	○	○	油彩画、日本画などを学習する。本格的な描画環境のもと、材料と描法の違いを理解し、作品を制作する。【履修上の注意】教材費2,000円が必要です。
	4	実用書道	24	○	○	○	○	○	○	○	日常生活の中で使われるさまざまな実用書を学ぶ。生涯を通じて書を愛好する態度を育てる。【履修上の注意】教材費2,000円が必要です。
情報	5	情報Ⅰ演習	36	○	○	○	○	○	○	○	「情報Ⅰ」で学んだ知識や科学的な見方・考え方をさらに深めるための演習を行う。
農業	6	食品製造	18	○	○	○	○	○	○	○	小麦粉(パン・めん類・菓子類など)、米粉(めん類・菓子類・団子など)、果物(ジャム類)、いも(菓子類)などの加工原理及び製造方法を学習します。【履修上の注意】教材費がかかります。
工業	7	工業管理技術	35	○	○	◎	◎	○	○	○	ものづくり(製造業)を中心とした企業の組織全体の経営・管理と工場における運営や生産、品質、安全衛生、環境、人事などの管理に関する知識と技術を学ぶ。
商業	8	原価計算	35					◎			製造業における日常的な経済活動を、適正に処理する方法を学ぶ。【履修上の注意】この科目をは、同時に財務会計Ⅰも履修すること。どちらか一方のみを履修することはできない。
家庭	9	保育実践	15	○	○	○	○	○	○	○	保育の重要性をさらに深く理解し、子供の発達を促す技術を身に付ける。「保育基礎」を学んでいる必要があります。【履修上の注意】実習費2,000円が必要です。

3年次

F 選択

●系列必修科目 ◎系列推奨科目 ○選択可能科目 ※条件あり

教科名	No	科目名	人数	人	自	食	機	電	ビ	ラ	学習内容、注意事項
国語	1	現代の国語演習	30	○	○	○	○	○	○	○	演習問題を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や、共感したり想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
地理歴史	2	日本史探究	35	※	○	○	○	○	○	○	日本の歴史について、原始古代から現代にいたるまで、世界の歴史と関連付けて伝統と文化を学びます。国際社会に生きるために、その基礎となる日本を知る学習を行います。
数学	3	数学B	35	○	○	○	○	○	○	○	「数列」、「統計的な推測」について学習する。知識の習得や、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばす。
外国語	4	英語基礎演習	35	○	○	○	○	○	○	○	問題演習を通して英語の基礎力の定着を図ります。G群の英語基礎演習と同じ内容です
理科	5	化学②	24	※	※				※	※	物質を構成する元素どうしの結合の仕方、気体や溶液の性質、反応速度や化学平衡の考え方、タンパク質、プラスチックなどの日常生活に関わる物質について学びます。【履修上の注意】2年次に化学基礎の履修が必要となります。D群の化学②も選択してください。
農業	6	生物活用	18	○	○	○	○	○	○	○	生物(野菜、草花など)の栽培・収穫・加工に関りながら、それらの様々な活用方法を身に付けます。生活の質の向上や健康の改善を図ることを考えます。【履修上の注意】1000円程度教材費がかかります。
工業	7	自動車工学	35	○	○	○	○	○	○	○	自動車及び自動車を構成する各装置の構造と機能について、基本的な原理、自動車が多種多様な部品を有機的に結合させた装置の集合体であること等を理解し、自動車と人との関わりについて学ぶ。
商業	8	情報処理	24	○	○	○	○	○	○	○	ワープロや表計算など、パソコンを用いて基本的な内容を学ぶ。パソコンに関する資格取得にも取り組む。
家庭	9	保育基礎	15	○	○	○	○	○	○	○	保育の意義や方法、子供の発達と生活の特徴、子供の福祉や文化について理解し、関連する技術を身に付ける。【履修上の注意】実習費1,500円が必要です。

3年次

G選択

●系列必修科目 ◎系列推奨科目 ○選択可能科目 ※条件あり

教科名	No	科目名	人数	人	自	食	機	電	ビ	ラ	学習内容、注意事項
国語	1	国語表現	30	○	○	○	○	○	○	○	国語の表現分野である「書くこと」「話すこと」の学習を通して、語彙や言葉の使い方、場面に応じた表現の仕方、自己表現の仕方などの伝え合う能力を育成する。
地理歴史	2	世界史探究	35	※	○	○	○	○	○	○	世界の歴史を原始・古代から現代まで、より詳しく学習します。それにより、歴史という視点からものごとを考える力を身につけます。
数学	3	数ⅠA演習	35	○	※	○	○	○	○	○	基礎的、発展的な問題の演習を通して、「数学Ⅰ」、「数学A」の学習内容の理解を深める。
英語	4	英語基礎演習	35	○	○	○	○	○	○	○	問題演習を通して英語の基礎力の定着を図ります。F群の英語基礎演習と同じ内容です。
情報	5	情報Ⅰ演習	35	○	○	○	○	○	○	○	「情報Ⅰ」で学んだ知識や科学的な見方・考え方をさらに深めるための演習を行う。
農業	6	食品化学	18	○	○	○	○	○	○	○	食品に含まれる栄養素(炭水化物・タンパク質・脂質・ビタミン・無機質)の特徴や、食品等に含まれる成分について、教科書と実験を通して学習します。
工業	7	電子回路	24					◎			電子技術の基礎となる半導体素子について学習し、各種増幅回路、電源回路、発振回路、変調・復調回路等、現代電子技術の基礎的内容について理解し、応用できる力を学ぶ。
商業	8	マーケティング	30	○	○	○	○	○	○	○	市場活動について学ぶ。例えば、商品を売るときに「誰に対して売なのか」「どの場所で売なのか」「価格はいくりに設定するのか」「どのような宣伝をするのか」など、様々なことについて考える。
福祉	9	こころとからだの理解	30	○	○	○	○	○	○	○	自立生活を支援するために必要な心と体の基礎的な知識を身につける。

3年次

探究・課題研究

●系列必修科目 ◎系列推奨科目 ○選択可能科目 ※条件あり

教科名	No	科目名	人数	人	自	食	機	電	ビ	ラ	学習内容、注意事項
国語	1	国語探究	35	◎	○						言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
地理歴史	2	歴史探究	35	◎	○						郷土の歴史の展開を理解し、地域社会の特徴を多面的・多角的に考察したり、地域の課題を追究したりする力を養い、よりよい地域社会の実現に貢献しようとする資質・能力を育成する。
理数	3	理数探究	36	○	◎						様々な事象に関わり、数学と理科の見方・考え方を組み合わせ、探究の過程を通して、課題を解決するために必要な資質・能力を育成する。
英語	4	外国語探究	35	◎	○						外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、探究の過程を通して、課題を解決するために必要な資質・能力を育成する。
家庭	5	課題研究(家庭科)	14							●家	家庭の生活に関する課題を発見し、実習・実験を通して創造的に解決する力を養う。
農業	6	課題研究(食品園芸)	36			●					これまで学んだ農業に関する各科目や自身の経験を基に、課題解決に向けて自発的に取り組む能力を育成する。
工業	7	課題研究(機械技術)	24				●				工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。
	8	課題研究(電子情報)	24					●			工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。
商業	9	課題研究(ビジネス)	35							●	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会における社会人として必要な資質・能力を育成する。
福祉	10	社会福祉探究	14							●福	福祉に関する課題を発見し、実践的・体験的な学習活動を行い創造的に解決する力を養う。